

交通安全協会だより（令和2年8月号）

～ 飲酒運転の根絶を！ ～ 飲酒運転は絶対にしない させない

1 飲酒運転による交通事故の発生状況（令和元年中）

昨年中の全国における飲酒運転による交通事故件数は3,047件で、前年と比べて減少し、そのうち死亡事故件数は176件で、こちらも前年と比べて減少しました。

また、徳島県での飲酒運転の交通事故件数は40件で、このうち4人の方が亡くなっています。

飲酒運転による死亡事故は、平成14年以降、累次の厳罰化、飲酒運転根絶に対する社会的気運の高まり等により大幅に減少してきましたが、平成20年以降は減少幅が縮小しており、下げ止まり傾向にあります。

2 飲酒運転による死亡事故の特徴等（徳島県の場合）

- 発生時間帯は、各時間帯に分布しており6時から8時が7件と最も多く、次いで20時から22時、0時から2時が各5件と多く発生しています。
- 事故類型では、追突事故が15件、車両単独が10件と多くなっています。

- ☆ 酒を飲んだら運転しない
- ☆ 酒を飲んだ者には車を貸さない
- ☆ 運転する者には酒を出さない・すすめない
- ☆ 酒を飲んだ者には運転させない・同乗しない

- 飲酒運転に起因する交通事故が後を絶ちません。
- 身体に取り込まれたアルコールは、運動能力や判断力を鈍らせ、車の運転に重大な影響を及ぼします。
- 飲酒運転は、死亡事故や重大事故につながる非常に危険な運転行為です。

~~~~~ ハンドルキーパー運動推進中 ~~~~~



このマークをご存じですか？

「ハンドルキーパー運動」とは、「グループが自動車で飲食店などに行き飲酒する場合、グループの中でお酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人はお酒を飲まずに、飲酒后、仲間を安全に自宅まで送り届ける。」という飲酒運転防止運動です。

飲酒の席にいる全員で、「飲酒運転をしない・させない」意識を持ちましょう。

飲んだら乗らない 車もバイクも自転車も